

平成24年度 第1回 花巻市男女共同参画審議会 会議録

- 日 時 平成24年8月7日(火) 14:00～16:15
- 場 所 花巻市役所本庁舎 3階 委員会室
- 出席者 高橋秀憲委員、安倍賢委員、藤戸妙子委員、岩渕満智子委員、阿部祐基委員、平賀貞子委員、川戸多喜子委員、小原幸子委員、穂高マツヨ委員
市民協働参画課
小林課長、鎌田課長補佐、齊藤市民協働・男女参画推進係長、照井主事
- 欠席者 小野タエ子委員、瀬川公委員、久保田明寿委員、藤根浩樹委員、若菜多摩英委員
- 傍聴者 0名
- 進 行 齊藤係長

■挨拶 小林課長

お忙しいところ、ご出席いただきありがとうございます。本日は亀沢政策推進部長が挨拶を申し上げる予定でありましたが急遽会議が重なりましたことから欠席となったこととお詫び申し上げます。花巻市男女共同参画基本計画は平成19年3月に策定し、平成27年度までの計画となっており、見直しに取り掛からなければならない時期にきている。今までは花巻市の事業施策の中で男女共同参画がどのように推進されているか、また課題は何かを把握するため、平成19年から5年間、事業点検を実施し、皆様にご意見をいただいていた。これから基本計画の見直しに取り掛かることから、5年間実施してきた事業点検結果を総括し、今後は新たな計画の見直しを進めていきたいと考えている。どうぞ皆様の忌憚のないご意見をいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

■委員紹介 新任の委員紹介に続き、担当職員の紹介

■報 告 進行：高橋会長

(1) 平成23年度男女共同参画推進事業点検結果について(資料1、参考資料1、2)

資料説明：小林課長

平成23年度に実施した男女共同参画推進事業の内容及び平成21年度から平成23年度までの事業点検結果を精査したうえでの総括について説明を行なった後、意見をいただいた。

【主な意見】

○事業点検結果について

- ・男女共同参画推進事業実施チェックリストの結果から、男女共同参画に対する意識が高まっているということは理解できるが、この結果は、庁内での事業をする側の意識が高まったということであり、市民の意識が高まった、また市の男女共同参画が進んだとは言い難いのではないか。重要なのは市民へ働きかけである。市民への男女共同参画が浸透してきているかはどのように判断するのか。

⇒ 事業点検はあくまで事業実施における職員の意識づけのために実施してきたものである。今後は見直しの中で、市民に対してどのような形で意識啓発を図っていくか検討していかなければならない。市民の意識調査は毎年2,000人の市民を対象とした「まちづくり市民アンケート」の中で調査している。

○コミュニティ会議等での女性の登用について

- ・事業として「地域・各種団体等への役員・委員への女性登用の働きかけ」とあるが、コミュニティ会議のメンバーにいまだに女性の登用数に変化が見えない。コミュニティ会議に任せるだけではなく、市からの指導等はないのか。
- ・情報提供をして声をかけるだけではなく、担当課としてもっと強力な働きかけを行ってもよいのではないか。

⇒ コミュニティ会議での女性委員登用率は花巻市全体で11%となっている。行政でも審議会、コミュニティ会議において女性の役員を入れるよう、お願いはしているところであるが女性委員登用率には地域差が見られ、コミュニティ会議については旧花巻地区で6.3%、大迫地区で17%、石鳥谷地区で16.5%、東和地区で11.8%となっている。一番多い八幡(石鳥谷)で29%、亀ヶ森(大迫)で28%となっており、亀ヶ森地区については規約を改正し、行政区から必ず1人女性を含めることとしている。私たちにできることは、高い登用率の事例を他の地域に情報として提供していくことであると考えている。今後はもっと強力な働きかけについても考えていきたい。

○DV相談件数について

- ・市民協働参画課における「男女共同参画相談窓口の設置」について、昨年度の相談窓口相談実績が0となっているが、花巻でDVがないというわけではないはず。花巻市で相談者が来ないということについてどう考えているか。

⇒ DVの相談についてはこども課の婦人相談員を設置してそちらの方に相談いただく形になっている。市民協働参画課は男女共同参画の事業全般の相談を受けており、DVの相談の場合は、こちらからこども課の婦人相談員に取り次ぐ形をとっている。こども課でのDV相談員実績は平成23年度27件、22年度23件、21年度25件となっている。

(2) 平成24年度の主な男女共同参画事業の推進状況について(資料2)

資料説明：小林課長

平成24年度に当課が担当する男女共同参画推進事業の内容について説明を行なった後、意見をいただいた。

○男女共同参画推進ワークショップについて

- ・男女共同参画が身近なものになって10年が経つが、関心を高める時期ではないのではないかと。
- ・ワークショップは募集を30～40名と考えているということでしたが、花巻市は合併後、規模が大きくなっている広い地域の方々に参加していただく手立てはあるか。
- ・昨年のワークショップの参加状況はどうだったのか。
⇒ ワークショップは昨年度からはじめたものであり、昨年は講師に震災のことを交えてお話いただきながら、身近な震災をどうするかといったワークショップを行った。一般募集はしなかったが、女性団体とコミュニティ会議に募集をかけ、推進員を除き16名の参加をいただいた。本年度は一般募集もする予定ではあるが、コミュニティ会議からも参加をいただき、男女共同参画の重要性を改めて理解していただければと考えている。

○男女共同参画サポーター養成講座受講生の活用について

- ・市では受講生の旅費を助成しているということであるが、サポーターとなった方に市の男女共同参画関係の協力等をお願いすることはあるのか。ただ旅費を助成するだけでは意味がないのでは。
⇒ 受講生となり、サポーターとして認定された方には市の男女共同参画関係事業等への積極的な協力をお願いしている。市で委嘱している男女共同参画推進員もサポーター養成講座を受講した方々である。

○男女共同参画推進員の活動について

- ・地域や市民への男女共同参画推進については、男女共同参画推進員の存在が重要であると考えます。
- ・本年度は寸劇やワークショップを取り入れて地域での活動を積極的に行うということだったが、寸劇やワークショップは地域の方々からも受け入れられやすい。今後の活動を期待する。

■その他 進行：高橋会長

(1) 男女共同参画基本計画の振り返りについて(参考資料3)

説明：小林課長

花巻市男女共同参画基本計画が平成27年度までとなっていることから、今回、事業点検結果を総括し、今後は事業点検という方法から、新たな方法で職員へ

の意識づけをはかることとし、また地域への男女共同参画の浸透を目指すことに重点をおき、花巻市総合計画基本計画に掲げる施策の男女共同参画施策関連部分の成果指標を目標値に近づけるため、花巻市男女共同参画基本計画の見直しに力を入れていこうと考えている。皆様から忌憚のないご意見をいただきたい。

【その他主な意見】

- ・男女共同参画は簡単なところから始めていかなければならない。
- ・「まちづくり市民アンケート」は回答者の半数が毎年入れ替わる方式であるということは「男女共同参画という言葉・意味を知っているか」という設問の回答率が50%を切っているというのはとても低いと感じる。
- ・保護者の方でも共働きが増え、お互いの小さな思いやりが薄れてきている。子供を保育園に任せきりという現状がある。男女共同参画が一般的になってきて、生活の根本が崩れてきている。すべてを自由に行うことが男女共同参画ではない。
- ・DV未然に防ぐと考えれば、男性向けにDVの防止のための講座があればよいのではないか。
- ・教育の現場における、管理職の女性の割合やPTAの会長さんに女性が就かれることが昔に比べて増えてきている。女性が話合いの場に参加することによって新しい視点、女性でしか気づくことのない視点が入り入れられるようになったと感じる。
- ・教育の現場では、子供たちに「生きる力」自立できる力を身につけるため、男女に関係なく教科は実施されている。子供たちに「生きる力」を身につけるためにも、親が困ったとき、悩んだときに気軽に相談できるような体制があることを知ってもらわなければならない。